

2009年度(第15回)

# 都市ビル環境の日

## 行事報告

シンポジウム  
子ども絵画コンクール  
クリーンアップ福岡



作品名:『あなたにもできるごみのリサイクル』  
折尾西小学校4年 高橋 維子さん



作品名:『ちきゅうをまもろう』  
足原小学校1年 重岡 萌花さん



作品名:『海の中のゴミそうじ』  
穴生小学校3年 徳岡 眞子さん

第2回  
子ども絵画コンクール  
最優秀賞  
(3作品)







2009 年度テーマ

## 「エコ都市への挑戦」

～あなたにもできるゴミリサイクル～



この度のシンポジウムは、会場とホールのブースを連動させた催しとなっています。



倉重「都市ビル環境の日」部会 部会長

今回のシンポジウムは新しい試みとして、環境活動を実践しておられる 5 団体（企業・市民団体・業界・行政）による実例講演と、その内容に連動した環境展示ブースを会場前に出展していただきました。シンポジウムにご参加いただいた皆様方には、今回のテーマである「あなたにもできるゴミリサイクル」の意義を理解され、「エコ都市」を多少なりとも実感していただくきっかけになったのではないかと思います。シンポジウム後半の「子ども絵画コンクール」の受賞者発表も楽しんでいただけたことと思います。



### 新 K B C ビルでの古紙リサイクルへの取り組み

KBC 開発株式会社営業部 西田不動産担当部長

K B C 開発株が管理を担っている新 K B C ビルにおいて、一般古紙を対象にリサイクルへの取り組みを行った。この内テナント側で問題となったのは、分別をどうしたらいいかわからないという事であった。問題解決のため、古紙回収業者と相談したところ、ビニールを使用したものとそれ以外の 2 種類に分別し、製紙メーカーへダンボールの材料として納入ができることになった。分別を簡便にできたことが、解決につながった。また、分別のできていないテナントに対しては、ゴミ箱「回収不可」の張り紙をするなどの強硬策も実施した。当初は不評であったが、徐々に理解を得られ浸透していき、ゴミの削減につながっていった。その結果、月間の廃棄ゴミが 80 袋から 20 袋に減少し、リサイクルゴミが 1 ~ 2 トンから 10 トンに増加した。この取り組みで効果のあった事例は、「リサイクル責任者の選任」「市役所職員によるリサイクル責任者への説明会の実施（リサイクルすることによる税金の節減等）」であった。

今回の取り組みで、「古紙の分別を簡素化できた」「テナントの従業員と清掃担当者が挨拶を交わすことでお互いのコミュニケーションが生まれ協力関係ができた」。また、この取り組みにより平成 14 年に福岡市から〔ごみ減量・再資源化優良事業者〕として最優秀賞を受賞することができた。我々管理会社の仕事とは、ビルに関わる全ての人たちが気持ちよく仕事ができる環境をつくることであると考えている。



## 環境保護実施活動の紹介

NPO 法人「自然環境保護市民の会」 那須野理事長

本会は後世に、より良い自然環境を残すため平成 2 年にスタートし、平成 18 年に「自然環境保護市民の会」として NPO 法人となり、現在 250 名の会員にて福岡市早良区内を中心に自然環境保護活動を行っている。

現在、定期活動として毎年行政と地域住民の協力を得て 3 千人規模で金屑川、油山川の上流から下流まで一斉清掃活動を長年継続している。啓発活動として、毎年小学校の環境学習として環境保全に関する講演会の開催及び講師派遣を行い、苛性ソーダによる石鹸作りのデモンストレーションも行っている。また、使用した合成洗剤の河川への垂れ流しによる自然破壊を防止するため、廃油による石鹸作りや牛乳パックによる椅子作り等の活動も行っている。

活動資金として、ガレージセールを活用した古紙回収による行政からの補助金のほか、少額ではあるが廃油石鹸販売等で活動資金作りに結びつく活動も行っている。

NPO 法人「自然環境保護市民の会」は、今後も身の回りの些細なことから自然環境保護に取り組み、一人ひとりの意識向上、啓発活動を通じて子子孫孫へ自然環境を保護するための活動を継続していく所存である。



## 循環型社会構築へ向けた新たな取り組み ～ 事業系ゴミの固形燃料化事業～

(社) 福岡県産業廃棄物協会福岡支部 黒瀬理事 [(有)博南開発専務取締役]

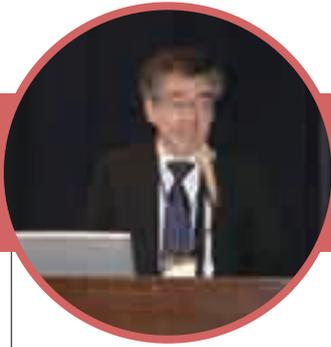
ごみ問題解決のためには小規模の身の回りの事から生活を変え、リサイクルを行うことが重要である。ここでは、当社の事業であるゴミ問題をテーマに説明を行う。

ゴミの種類としては、家庭ゴミ(一般廃棄物) 事業系ゴミ(一般廃棄物・産業廃棄物)に大別される。全国のごみリサイクル率は 19.6%、福岡県は 22 位でリサイクル率は 19.2%で、全国平均を下回っている。

福岡市を見てみると、50%が事業系ゴミで内 90%が可燃性ゴミであり、可燃物のゴミの組成は紙類 41.7%、生ゴミ 26.4%、プラスチック 17.2%となっている。紙類・プラスチックは、60%がリサイクル可能である。紙類はマテリアルリサイクルとして再生紙に、プラスチックは固形燃料(RPF)として回収する。また、遡れば江戸時代 100 万都市であった江戸では、当時世界一のリサイクルシステムが発達し、燃えかすの灰を土壌改良材・洗剤として再利用するなど現在よりはるかに高いリサイクル率であった。この時代には、我々が現代社会で見習うべきリサイクル事例が数多く実践されていた。

今後は、事業として事業系のゴミの中に依然として多く含まれている可燃ゴミのプラスチックゴミを固形燃料としてサーマルリサイクル、紙類を製紙原料としてマテリアルリサイクルを推進していく。

また、今後の課題としてプラスチックゴミについてはまず資源として循環し、できなければ固形燃料化し、最終段階として焼却する方法を検討している。



## ごみ削減取り組み事業と環境市民ファンド事業について

福岡市環境局 平井事業系ごみ対策課長

福岡市としては、平成 18 年 7 月に福岡市環境基本計画（第二次）を策定し、目指すべき環境像として「時を超えて人が環境とともに生きるまち」、重点的に取り組む分野として「福岡式環境循環型社会システムの構築(3R)」「温暖化対策を考えた福岡のまちづくり」「自然とのふれあいと生物多様性の保全」を掲げ、「地域特性を活かし、地域と共同で施策を推進」している。

事業系ごみ対策課としては、1. リデュース（発生抑制）2. リユース（再利用）3. マテリアルリサイクル（再生利用）4. サーマルリサイクル（熱回収）を 4 つの施策として掲げている。事業系ごみは各事業所の責任でリサイクルを行うことになっており、事業系ごみ対策としては事業系古紙回収推進事業、事業所ごみ減量再資源化指導を行っている。また、食品ゴミに対する事業所の取り組みは、食品リサイクル法の改正により活発化しているが、今後は行政、学識経験者、事業者、処理業者等も巻き込んで具体的方法を探り民間事業者の活動を促して行く。表彰制度として、福岡市内で環境保全に功績のあった活動に対して表彰している。

次に、環境市民ファンドは平成 17 年 4 月に創設され、市民の自発的な環境保全、ごみ減量リサイクル、環境美化などの活動を支援しており、平成 20 年度は 9 億円の事業を実施している。行政よりビルメン業界へ、「ごみ処理は事業の一部」「混ぜればごみ、分ければ資源」「キーワードは HUB」「ルールを守って適正処理を忘れずに」が提案された。



## 待ったなし地球温暖化～エコ事業所登録について～

福岡県環境部環境政策課 宮崎企画広報監

地球温暖化が進行しており、海や森林で吸収できる CO<sub>2</sub> が年間 110 億トンといわれているが、人間の生産活動による排出量は 230 億トンであり、将来的にキャパのオーバー分 120 億トンの削減が理想的な排出量と考えられる。

CO<sub>2</sub> は、日常生活や事業活動の中で使う電気、ガス、自動車の使用、ごみの排出、水道の使用などで直接的間接的に排出されている。家庭では年間 4600kg の CO<sub>2</sub> を排出している。福岡県では温室効果ガスを 2006 年には 1990 年比で 2.4% 削減できたが、これは主に大企業によるもので、事業所、家庭、車等では逆に増加している。今後は、県民生活に密着した部門の対策を推進していく。その中で事業所を対象とした温暖化対策として、エコ事業所応援事業を展開していくことが必要となってくる。

福岡県としては、CO<sub>2</sub> 削減を目指して平成 21 年に「ふくおかエコライフ応援サイト」というエコ事業所登録ができるシステムを立ち上げた。このシステムは、登録すれば入力したデータに基づき電気使用量の増減、推移が自動でグラフ化される。エコアドバイス機能により、エコの取り組みが簡単に検索できる。エコ事業所の中での県内順位、対前年増減率が随時わかる。事業所内でのグループの取りまとめができることにより、各事業所の意識向上が図れる。

### テーマ：「あなたにもできるゴミリサイクル」

今年で2回目となる絵画コンクールを今回は福岡県内の全小学校に募集したところ、83校から514点の作品が集まりました。テーマは、シンポジウムのサブタイトル『あなたにもできるゴミリサイクル』です。みな純粋に環境のことを題材に、絵を一生懸命描いてくれました。特に関心させられたのはプルタブやペットボトルの蓋を集め、車椅子やワクチンを送るというボランティアを絵画にしてくれた生徒さんが多くいたことです。環境だけでなく、人にも優しい子ども達だと思いますし、心温まる作品がたくさん応募されました。

その中から足原小学校1年の重岡萌花さん、穴生小学校3年の徳岡眞子さん、折尾西小学校4年の高橋維子さんの作品を最優秀賞に選ばせていただきました。また、最優秀賞の生徒さんには、金子会長が学校を訪問し、直接表彰することができました。学校の先生方も大変喜ばれ、私たちも嬉しい気持ちになりました。



足原小学校で重岡萌花さんと佳作の中野馨文くん、白井友知くん、田村和久くんを表彰する金子会長



アクロス福岡での展示

### 第2回

# 子ども絵画コンクール

**2009 都市ビル環境の日**

主催：(社)福岡県ビルメンテナンス協会  
 後援：福岡県教育委員会  
 福岡市教育委員会  
 北九州市教育委員会

**応募してくれた小学生全員に「ボールペン&シャープペンセット」を進呈!**

**増え続けるゴミ。でも、私たちのちょっとした工夫で減らすこともできれば、再利用することも可能です。小学生の視点で私たちにできる取り組みを考え、そのアイデアを絵にしてください。**

社団法人福岡県ビルメンテナンス協会では、1995年より毎年10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、様々な環境問題の改善や都市の美化活動に積極的に取り組んでいます。当協会は、これらの活動を一般の子ども達にも広く普及させたいと、昨年に引き継ぎ「子ども絵画コンクール」を開催いたします。このコンクールが、次の世代を担う子どもたちの「環境」や「モノ」に対する思いやりの心を育む契機となることを願っています。

- **応募資格** 福岡県内の小学生
- **募集テーマ** 【あなたにもできるゴミリサイクル】
- **応募点数** 一人1点
- **応募規定** ①画紙：画用紙(四つ切) 55cm×39cm  
②絵の具：自由 ただし、絵画、ぼりえ、異素材の粘付は不可  
③応募票：作品の裏面右側に、右の応募用紙を貼ってください(応募作品の返却をご希望の方は、お手数ですが当協会までお返しく下さい(ただし、返却期間は平成21年11月末まで)。  
④入賞作品の著作権は、主催者側に帰属するものとします。右の応募用紙に必要事項をご記入ください(応募用紙は、右記の当協会ホームページからもダウンロードできます)。作品は、当協会へ送付時もしくは郵送にて受け付けます。  
※応募規定・応募方法に不備な作品は受け付けできませんのでご注意ください。
- **募集期間** 平成21年7月17日(金)～9月11日(金) ※当日消印有効
- **発表** 入賞者には郵送にて通知します。また、当協会のホームページ上でも発表します。
- **表彰** 最優秀賞 3名(賞状・記念カード)  
優 秀 賞 10名(賞状・記念カード)  
佳 作 20名(賞状・記念カード)
- **参加賞** 応募者全員に「ボールペン&シャープペンセット」を進呈します。

- **表彰式** 平成21年10月2日(金) 於：九州エネジー館 (福岡市中央区東4-13-65)
- **作品展示** 入賞作品は平成21年9月28日(月)～10月4日(日)の間アクロス福岡1Fコミュニケーションエリアに展示します。〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号 藤田ビル2F 社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会 「子ども絵画コンクール」係 TEL (092) 481-0431 [ホームページ] <http://www.fukuoka-bma.jp/>
- **作品届出先** 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号 藤田ビル2F 社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会 「子ども絵画コンクール」係 TEL (092) 481-0431 [ホームページ] <http://www.fukuoka-bma.jp/>

題 名		
氏 名		男 ・ 女
学 校 名		小学校 年 生
保護者氏名		
自宅住所		〒 ( ) TEL ( ) - ( )

「子ども絵画コンクール」告知用のチラシ



穴生小学校で徳岡眞子さんを表彰



折尾西小学校で高橋維子さんを表彰

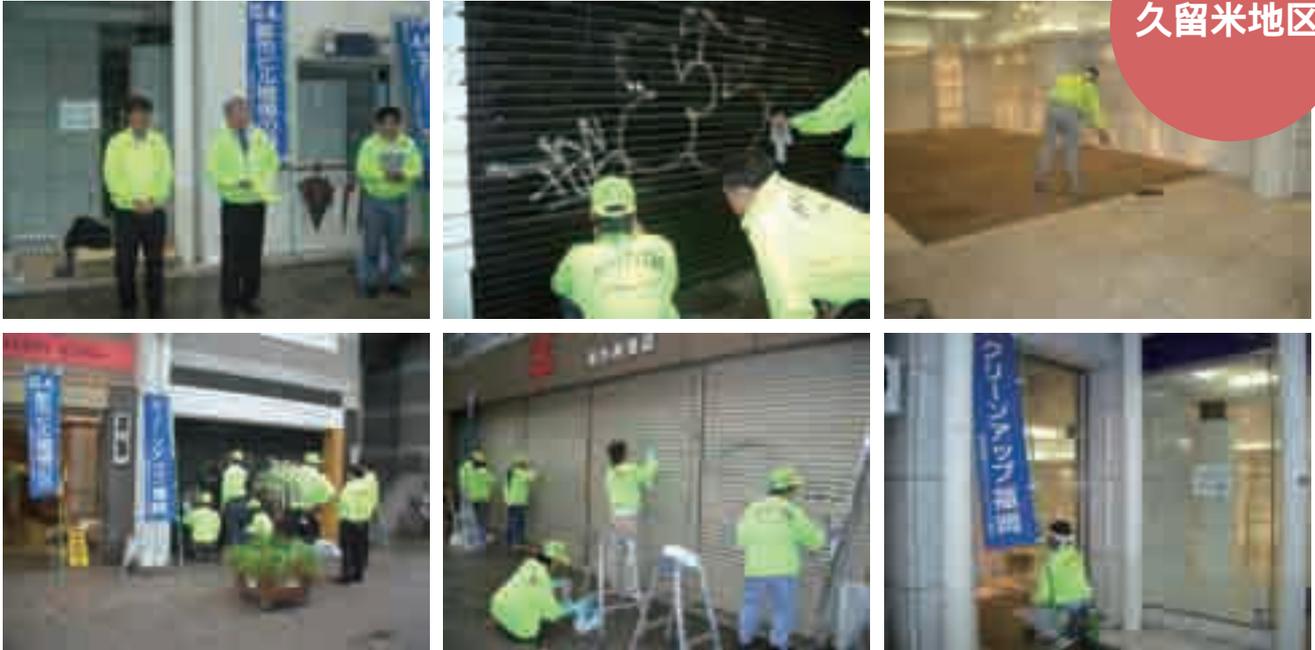


北九州市庁舎での展示

2009年10月2日(金)・5日(月)実施

今年の「クリーンアップ福岡」は福岡県下4地区で10月2日に実施する予定でしたが、終日の雨のため当日は唯一久留米地区で実施。田川地区が10月5日に実施しました。

### 久留米地区



久留米地区のクリーンアップ活動には金子会長も駆けつけられ、12社35名の参加で、久留米市一番街とあけぼの商店街の5箇所の空き店舗のシャッターのらくがき落し清掃と、3箇所の空き店舗内の床清掃・ガラス清掃を実施しました。アーケードの中での作業であったため、非常に強い雨でしたが実施することが出来ました。

この度の清掃作業は、久留米市商工会議所・久留米市中心市街地活性化協議会の依頼を受けての実施でした。久留米市では、11月7・8日に「B1グランプリ」第1回九州大会が開催され、その店舗として今回清掃したところが使用されることになっています。久留米の商店街活性化に役立つ活動が出来たことを参加者全員が満足していました。

### 田川地区

実施日 平成21年10月5日(月)  
 場所 福岡県田川市上本町10番  
 社会保険田川病院周辺市道  
 参加者 20名



4班に分かれ、病院周辺市道の芥、空き缶等の清掃を実施しました。

第2回  
子ども絵画コンクール  
優秀賞  
(10作品)



作品名：『学校でのリサイクル』  
弥生小学校3年 瀬戸崎 沙良さん



作品名：『生ごみリサイクル』  
小田部小学校5年 高柳 里穂子さん



作品名：『ゴミのぶんべつ』  
三毛門小学校1年 本松 学都くん



作品名：『あなたにもできる  
ゴミリサイクル』  
那珂小学校6年 川口 時和さん



作品名：『エコをしながらボランティア』  
那珂小学校6年 梅津 彩乃さん



作品名：『地球の未来』  
片縄小学校4年 安部 一誠くん



作品名：『わたしにできるリサイクル』  
東箱崎小学校6年 藤井 百花さん



作品名：『リサイクル』  
北野小学校3年 和佐野 ひかりさん



作品名：『リサイクル』  
安徳南小学校2年 その川 まおさん



作品名：『カンのふたを集めよう』  
長門石小学校6年 佐藤 将義くん

社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号(藤田ビル2F)  
TEL (092) 481-0431 FAX (092) 481-0432  
<http://www.fukuoka-bma.jp>